



Pre-pre 2月の生活表

保育日数 16日

2025年2月

聖マリア幼稚園

Pre-pre クラス

年主題

さあ、漕ぎだそう 奏でよう

月主題

そうなんだ

月のねがい

- ・自分の言葉で神さまとお話してみる
- ・友だちと関わる中で、友だちのいろいろな思いに触れ考える
- ・寒い中にも春が近づいていることを感じ、自然の不思議さやおもしろさに気づき、楽しむ

あっという間に一月が終わり気がつけば二月になりました。毎日子どもたちと過ごしていると時間の経つのがとても早く感じます。あと二か月足らずで今年度も終了致します。残りの日々を一日一日大切に丁寧に子どもたちと接していきたいと思えます。そして何より楽しく過ごしましょう！

今月の月主題は「そうなんだ」です。イヤイヤ期真っ只中のプレプレちゃんたち。自分の思い通りにならないと泣いたり喚いたり暴れたり…それはそれは大変です。上手く自分の思いを伝えられなくて泣くことやイヤ～と言うことでしか表現出来ないこともしばしばです。それでも私たちは子どもたちと丁寧に向き合ってその心の内を理解し（全てを理解することは難しいですが…）ただただいいなりになるのではなくダメなものはダメ！心を鬼にしてけじめをつけなければならないこともあります。かわいい子どもを前にして辛いかもしれませんがこういった経験を通して子どもは自分の心に、そして周りのお友だちやお父さんお母さんに、先生たちに、折り合いをつけて生きていく術を学んでいくのだと思います。子どもたちも私たち大人も「そうなんだ」と心に折り合いをつけ納得して前に進んでいけますように。そのためには相手の思いや考えに触れ理解してあげることが大切ですね。小さなプレプレちゃんたちはまず自分の思いを言葉で伝えられるように！よせて、かして、～してください、ありがとう…声に出して言ってみましょう。そして1日に1回はぎゅっと抱きしめてあげて下さいね！お母さん！今月もよろしくお願い致します。――



《チャブレンコーナー》

2 月月間主題：わくわくするね

月聖句：わたしは弱い時にこそ強いからです。

(コリントの信徒への手紙2 12：10)

パウロという人物は、キリスト教史上、最も偉大と言っても過言ではない人物です。新約聖書の約3分の1にも及ぶ分量の文書を書き、「信仰義認」や「十字架による人類の罪の贖い」など、キリスト教の中心となる教えを確立しました。また、ユダヤという小国の一地方で発生したキリスト教を、どんどん外部に伝道し、最終的にはローマ帝国の中心であるローマにまで伝えました。彼はこの地で殉教したのですが、彼の死後、キリスト教はローマ帝国の隅々まで広がり、現在に至る「世界宗教」にまでなりました。

彼は、代々のユダヤ教の信仰を受け継ぎ、高等な教育と訓練によりユダヤ教のエリートとなりました。彼は当初、誰よりも熱心にキリスト教を迫害していました。単なるユダヤ人であるイエスを「神の子」とあがめるクリスチャンに対して、「唯一の神様に逆らう反逆者」として許せなかったのです。その彼がある日、劇的な形で、復活のイエス様に会いました（本当に劇的です。ぜひ改めて説明したいです）。そこから彼は180度回心し、今度は誰よりも熱心なクリスチャンとなって、キリスト教を広める者となったのです。

けれども彼の伝道は、最初からうまくいっていた訳ではありません。最初は自分の知識と体力をフルに発揮して、熱心に伝道しました。けれどもその時には、目立った成果を上げることができませんでした。その後、彼は周囲からの激しい迫害と、そして思いもがけない持病の発症によって、体力、気力とも劣ってしまい、以前のような積極的な伝道ができなくなってしまいました。ところが、彼が弱くなってからの方が、伝道が上手くいくようになったのです。

社会では強い方が良いのかもしれませんが。けれども神様の愛は、反対です。強さではなく自分の弱さが、優しさと愛を生み出すのです。



《生活指導》

 寒さに負けない強い身体を作しましょう。

- ・底冷えの京都。寒さに負けない様に健康管理をしつつ、戸外での風にもしっかり触れて、体を鍛え、抵抗力も養いましょう。
- ・帰宅後の手洗い、うがいを忘れずに習慣づけましょう。

 子どもたちの成長に目をとめてみましょう。

- ・お友だちとの関わり合いを通して、子どもたちの成長に気づいてみましょう。
- ・短い3学期です。お友だちと楽しく過ごし、次年度への認識を少しずつ培っていきましょう。

 冬から初春を迎える自然の移り変わりに目を留めてみましょう。

- ・小さな春を見つけてみませんか。幼稚園の登降園で親子で気付いてみましょう。

